

平成29年度

事 業 計 画 書

公益財団法人 日 産 厚 生 会

当会の平成29年度の事業活動計画は以下のとおりである。

1. 公益目的事業の充実

医学研究所の統括の下、傘下の各施設がそれぞれの施設特性に応じた臨床医学研究活動や予防医学研究活動を実践し、その活動成果を学会発表や学術論文として外部に発信すると共に、医学フォーラムや院内研修会等を通じて、知識・技術の普遍化を促し、医療水準の向上を図る。

(1) 各施設における医学研究の推進

①医学研究所

各施設の研究計画、研究実績を統括し、実践と成果普及を推進する。

具体的な取組みの一つとして、毎年一回、医学フォーラムを主催し、各施設からの研究成果の発表とそれらを会全体で共有する機会を提供すると共に、各施設間の交流を促進する。

また、今年度においては、研究者に対する医学研究倫理の教育指導について推進を図ることとする。

②玉川病院

各研究センター（透析、気胸、ヘルニア、股関節、リハビリ）・診療部・医療技術部及び看護部それぞれにおける調査・研究活動への取り組みを推進する。

③佐倉厚生園病院・玉川クリニック・診療所他

それぞれの施設特性に応じた研究活動を推進する。

- ・回復期・慢性期医療から在宅医療へのシームレスな移行に関する研究
- ・禁煙対策に関する研究
- ・健診データ等の活用による予防医学研究

各施設における具体的な研究・調査の内容については4頁以降の(別表)のとおり。

(2) 健康普及啓発活動による地域社会への貢献

玉川病院や佐倉厚生園病院では、従来から行っている各種教室（糖尿病教室、腎臓病教室、呼吸リハビリテーション教室等）、病院祭や看護の日といった一般市民向け院内公開行事等を継続的に実施すると共に、AED講習会、熱中症講習会、市民公開講座等の院外における啓発活動を継続して実施する。

また、診療所やクリニックにおいては、産業医としての講演活動等において、禁煙指導や生活習慣病予防等をはじめとする、様々な健康普及啓発活動を展開する。

2. 社会福祉への貢献

主要施設において地域福祉の向上及び介護保険事業への協力を展開する。

玉川病院では、都・区・保健所・医師会等の要請に応え、医師、看護師、PT・OT・ST等を障害者医療に関する講演会・講習会に講師として派遣し協力する。

佐倉厚生園病院は近隣の社会福祉施設の指定病院として高齢者医療を支援するとともに、自治体が行う介護保険事業において連絡協議会委員病院として連携・協力する。

3. 各種教育・人材育成の推進

(1) 臨床研修医の受け入れ

玉川病院は基幹型及び協力型臨床研修病院として、佐倉厚生園病院は研修協力施設として、各々研修医の受け入れ、指導を行う。

(2) その他医療・介護関連の実習指導

玉川病院及び佐倉厚生園病院等においては、医療、看護、リハビリ（PT・OT・ST）、臨床検査、栄養、薬剤、メディカル・ソーシャル・ワーカー、介護福祉、医療事務等の学生に対し、実習指導や講師の派遣を行う。

4. 主要施設の医療活動・設備等について

(1) 当年度の想定患者数、健診者数は3頁の(参考)のとおり。

(2) 機器・設備の整備等

(玉川病院)

- ①手術室を整備拡張し、患者の待機時間短縮と手術件数増加を図る。
- ②血液浄化装置を更新し、装置の品質保持及び安全性を確保する。
- ③駐車ゲート機器の改修工事を実施すると共に、事前精算機を導入し、安全管理を図る。
- ④本館屋上ポンプの更新と経年劣化が激しい各階の給水配管を交換し整備を図る。

(佐倉厚生園病院)

- ①オーダリングシステムを導入し、患者の利便性の向上及び業務の効率化を図る。
- ②超音波診断装置を更新し、画像精度の向上を図る。

(玉川クリニック)

- ①マンモグラフィー装置を更新し、画像精度の向上を図る。
- ②健診支援システムと超音波装置を更新し、健診業務の効率アップを図る。

(佐倉ホワイエ)

- ①外壁等大規模修繕工事の実施
- ②特殊浴槽の更新により、利便性の向上と安全性を確保する。

(診療所)

- ①電子カルテシステムを導入し、IT化を推進する。

以上

(参考)
想定患者数、健診者数等

(1) 入院患者数

玉川病院		佐倉厚生病院		診療所	
種別	H29年度予算 延人員	一日平均	延人員	一日平均	延人員
一般	88,805	243.3	235.9	7.4	
回復期リハ	13,140	36.0	35.0	1.0	
地域包括ケア	13,505	37.0	35.0	2.0	
計	115,450	316.3	305.9	10.4	
H28年度見込	111,654				
対前年度	103%				

(2) 外来患者数

玉川病院		佐倉厚生病院		診療所	
科別	延人員	一日平均	延人員	一日平均	延人員
H29年度予算	201,289	689.5	19,110	65.0	19,730
H28年度見込	195,310	664.3	17,873	61.0	19,616
対前年度	103%	25.2	107%	4.0	101%
				△ 0.6	100% △ 1.7

(3) 健診者数

種別	玉川病院	佐倉厚生病院	診療所	玉川クリニック	合計	区 分	入所延人員	1日平均	通所延人員	1日平均
各種健診	8,220	7,232	20,400	5,450	41,302	H29年度予算	28,908	79.2	12,669	41.0
人間ドック	625	2,764	1,300	250	4,939	H28年度見込	28,908	79.2	12,362	40.4
計	8,845	9,996	21,700	5,700	46,241	対前年度	100%	0.0	102%	0.6
H28年度見込	8,701	9,405	21,330	5,490	44,926					
対前年度	102%	106%	102%	104%	103%					

(4) 佐倉ホワイト利用者数

H29年度予算	28,908	79.2	12,669	41.0	
H28年度見込	28,908	79.2	12,362	40.4	
対前年度	100%	0.0	102%	0.6	

(別表) 研究・調査

I. 玉川病院

1. 研究センター

(1)透析センター

- ① 糖尿病合併CKD患者を含む保存期CKD患者に対する多職種による包括的指導の継続と臨床的有用性
- ② 透析患者の重症感染症発症に対するプロカルシトニン（PCT）測定の有用性評価
- ③ 外来維持透析患者の身体・生活動作の調査とともに介入効果の検討
- ④ 透析液の清浄化およびオンラインHDFにおける臨床効果
- ⑤ 維持透析患者に合併する下肢末梢動脈病変・重症虚血肢に対するフットケアの実践とその有効性評価
- ⑥ 透析療法におけるインド共和国との技術協力について
- ⑦ 在宅透析である腹膜透析（PD）療法における臨床工学技士と看護師の協働について
- ⑧ 透析センターにおけるアクションカードを用いた災害対策について

(2)気胸センター

- ① 月経随伴性気胸における骨盤子宮内膜症の影響
- ② 月経随伴性気胸における横隔膜MR I診断の検討
- ③ 希少部位子宮内膜症の包括的診断治療の確立
- ④ BHD症候群に対する胸膜カバーリング術の有効性
- ⑤ BHD症候群における皮膚病変の臨床的検討
- ⑥ BHD症候群のDNA解析と臨床的診断の検討
- ⑦ LAMに対する全胸膜カバーリング術の有効性
- ⑧ tissue linkによる肺囊胞焼灼の有効性
- ⑨ 原発性自然気胸の術後再発における検討
- ⑩ エラスタンロス症に対する胸腔鏡手術
- ⑪ 左月経随伴性気胸例の病理学的検討
- ⑫ マルファン症候群における気胸症例の検討
- ⑬ 男性LAMの1手術例

(3)ヘルニアセンター

- ① 鼠径ヘルニア治療のガイドライン改訂作業 治療前診断と診断方法
- ② 鼠径部ヘルニアの画像診断方法とその比較検討・分析
- ③ 病態別個別化による腹腔鏡下ヘルニア術の展開
- ④ 腹腔鏡下ヘルニア修復術を通じたヘルニア病態の解明
- ⑤ 人工物（メッシュ）を使用しない腹腔鏡下修復術の研究と確立
- ⑥ De novo型ヘルニアの病態と治療法の工夫
- ⑦ TAPPにおけるマーキング法の展開
- ⑧ 再発ヘルニアの治療法の工夫

(4)股関節センター

- ① 変形性股関節症に対する新しい人工関節治療法の研究の継続
- ② 赤外線ナビゲーションシステムを用いた小侵襲人工股関節手術の検討と確立
- ③ 光学式三次元仮想空間認識（Virtual reality ; AR）を応用した手術の多施設臨床応用
- ④ 関節温存療法としての寛骨臼回転骨切り術、大腿骨外反骨切り術、Chiari骨盤骨切り術適応の確立
- ⑤ 股関節唇損傷と股関節症の因果関係の検討（MR Iによる）
- ⑥ 新手技（先進医療）をさらに発展させた人工関節手術法の開発と確立
- ⑦ 日本人の大腿骨髓腔形態に適応した新しい人工股関節の臨床使用と経過観察
- ⑧ 人工股関節置換術後長期予後予測シミュレーションシステムの一般化と検証
- ⑨ 当科における周術期自己血・回収血輸血有用性の検討と課題の探索
- ⑩ 変形性股関節症の発症メカニズムの解明
- ⑪ 人工股関節再置換術手術手技における適応と術式決定法の確立
- ⑫ 周術期SSI発生低減化に向けての検討
- ⑬ 大腿骨近位部骨折治療法の確立と術後有害因子の検討

(5) リハビリテーションセンター

- ① 歩行同調型自立支援ロボット装置(Honda歩行アシスト、東工大 Walk-Mate)を用いた整形外科疾患、脳神経疾患後遺症のリハビリへの応用とその改善について検討
- ② 頸頭蓋直流電気刺激を用いた高次脳機能障害(半側空間無視、失語症)の改善に関する検討
- ③ 新しい刺激シーケンスを用いた反復頸頭蓋磁気刺激による脳卒中後片麻痺の改善に関する検討とその改善機構の解明
- ④ 反復頭蓋磁気刺激によるパーキンソン病の運動機能の改善に関する検討
- ⑤ 痢縮に対するボトックス治療での効果の検討
- ⑥ タブレットを用いた失語症自習プログラム開発とその効率的活用に関する検討

2. 診療部

(1) 循環器内科

- ① 奇異性脳塞栓の発症機序とリスク因子の検討
- ② 心房細動を有する経皮的冠動脈形成術施行患者の多剤併用抗血栓療法に関して、適正な投与期間と薬剤数についての検討
- ③ 睡眠時無呼吸症候群の内皮機能に関する研究(FMDによる検討)
- ④ β ブロッカー貼付剤ビソノテープによる心房細動患者の心拍数コントロール効果についての検討
- ⑤ 神経調節性失神患者の発症機序解明についての研究
- ⑥ 致死性不整脈の発症リスクについての検討(心室遅延電位、T波交互脈検査を用いて)
- ⑦ 自律神経機能の測定と心血管疾患の予防についての検討
- ⑧ 心臓自律神経機能の改善方法に関する研究

(2) 呼吸器内科

- ① 包括的呼吸療法からみたリハビリテーション介入、栄養療法介入、薬剤指導介入の実績調査
- ② 呼吸器入院患者の身体活動量測定の研究
- ③ 呼吸器外来患者の身体活動量測定の研究
- ④ 呼吸器疾患患者の身体組成、特に下肢筋量測定の研究
- ⑤ 6分歩行試験における3軸加速度計の臨床応用の研究
 - 呼吸リハビリテーションにおける運動強度決定に関する検討
 - COPDにおける検討、間質性肺炎における検討
 - 6分歩行試験結果と生活活動レベルの関連性の検討
- ⑥ 脂肪塞栓症の診断に関する研究
- ⑦ 歩行、ゆっくり歩行、速歩、スロージョギング、ジョギング、ランニングの呼吸器学的検討

(3) 消化器内科

- ① 手術不能な悪性胆管狭窄症例に対する胆管ステント挿入による予後検討
- ② 超高齢者胆管結石症に対する内視鏡治療の検討
- ③ 難治性GERDの周辺因子・治療選択
- ④ 消化管出血の背景因子・治療経過
- ⑤ C型肝炎のインターフェロンフリー経口2剤療法の検討
- ⑥ 当院での炎症性腸疾患の治療成績

(4) 糖尿病内科

- ① SGLT2疎外薬の当院での使用成績
- ② 夏場に腎機能が悪化する糖尿病患者の特徴

(5) 脳神経内科

- ① 高齢発症てんかんにおける高次脳機能障害に関する検討
- ② 脳梗塞部位とその症状である失語症の重症度・病型に関する検討

(6) 一般・消化器外科

[一般・消化器外科]

- ① 併存疾患を多く有する高齢者の消化器外科手術においては周術期合併症も増加している。
併存疾患など患者背景因子と発症した合併症を詳細に検討することにより、安全確実な手術適応と周術期管理を導く。
- ② 高齢者における高度侵襲消化器外科手術後の在院日数を短くする工夫
—地域医療連携センターと共同した在宅医療へのシームレスな移行に関するチーム医療の検討—

- ③ 高齢の切除不能膵癌および胆道癌患者において予後を延長するためにチームで行う化学療法および緩和・栄養支持療法の検討
- ④ 膵頭十二指腸切除術における安全確実な膵空腸吻合の確立と実践
- ⑤ SSIのない腹腔鏡下虫垂切除術の探求、適切なドレーン管理の検討
- ⑥ 腹腔鏡シミュレーションセンターを使用した初期研修医に対する腹腔鏡下虫垂切除術の教育
- ⑦ 外科医、麻酔科医、病棟・手術室・ICU・外来看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、ケースワーカーなどの多職種からなるチーム医療連携によるERAS (Enhanced Recovery After Surgery) プロトコールをとりいれた早期退院を目指した食道癌手術の検討
- ⑧ 高度胆囊炎に対する腹腔鏡下胆囊摘出術において、その誤認により合併症を生じやすい。胆囊管の分岐には解剖学的なvariationが多く、Calot三角の正確な解剖の把握のため、術前MRCP検査を行うことが重要。単孔式腹腔鏡下胆囊摘出術を安全に実施するための術前MRCP検査の有効性を検討
- ⑨ 赤外線カメラシステムを使用したICG蛍光法による肝区域染色法を用いた系統的肝切除術の検討
- ⑩ 下肢静脈瘤に対する低侵襲性レーザー治療 (Closure RFGジェネレーター治療) の実践と治療結果の検討
- ⑪ 消化管の縫合不全をゼロにするための工夫
赤外線カメラシステムを使用して消化管吻合部位の血流を測定することの意義を検討
低位前方切除術における経肛門ドレーン留置の有効性を検討

[乳腺外科]

- ① 遺伝子解析研究による乳がん予後予測因子・治療効果予後因子を探求する
Stathmin1およびSurvivin遺伝子による解析
- ② 遺伝性乳がん・卵巣がん症候群における遺伝カウンセリングの受診行動に関する研究
～アンケート調査（一次調査）の実施～

(7)脳神経外科

- ① コンピュータ画像誘導による低侵襲手術の検討と確立
- ② 脳神経外科手術におけるトラクトグラフィーの応用と検討
- ③ 術中ICG (インドシアニングリーン) 脳血管造影による脳血管病変の検討
- ④ 重症脳梗塞患者に対する減圧術の工夫と検討
- ⑤ 脳内および脳室内血腫除去に対する硬性神経内視鏡の利用と検討
- ⑥ 脳動脈瘤手術における特殊T型クリップの応用と検討
- ⑦ 血管性病変の手術におけるマイクロ超音波血流計の利用と検討
- ⑧ 水頭症手術における、シャントシステムの比較検討
(Codman:Medos system, Medtronic Strata II valve system, B.Braun: Miethke proGAV system)
- ⑨ 正常圧水頭症におけるVSRADの応用
- ⑩ 認知症鑑別に有用な画像検査の検討

(8)整形外科

- ① 高齢者の合併症の検討（種類、頻度、予防、診断、治療）
- ② 脊椎圧迫骨折のMR I の時期における信号の変化について
- ③ 脊椎手術の治療成績の検討

(9)皮膚科

- ① 皮膚疾患における光線療法の有効な治療方法の確立と効果の検討
- ② アトピー性皮膚炎および尋常性乾癬におけるシクロスボリンの有効性の検討
- ③ 寻常性乾癬における生物製剤導入への検討
- ④ 薬疹における原因薬剤の同定と服薬指導による予防
- ⑤ 接触皮膚炎における原因物質の同定と生活指導
- ⑥ 褥瘡における創傷被覆剤、外用剤の適切な使用の検討
- ⑦ ウィルス性発疹症の適切な診断と感染防御対策の確立
- ⑧ BHD症候群における皮膚症状の病理学的および疫学的検討（気胸センターとの共同研究）
- ⑨ がん治療に使用する分子標的薬の皮膚障害に対する予防的治療の検討（外科、薬剤科との共同）
- ⑩ 人工関節置換術前の金属パッチテスト施行による金属アレルギーの予防（当院整形外科からの依頼）

(10) 泌尿器科

- ① 光選択的前立腺蒸散術の臨床成績の集積と術式改善への検討
- ② PSA高値症例に対する不必要な前立腺生検を回避するためのMRI検査の導入とその評価
- ③ 腎細胞癌の集学的治療（手術、分子標的薬、サイトカイン）の検討
- ④ 進行膀胱がんに対する膀胱温存療法の検討
- ⑤ 小切開創手術（副腎摘除術、根治的腎摘除術、根治的前立腺全摘除術）の展開

(11) 産婦人科

- ① 妊婦に対する食生活指導介入の効果について
 - 1. 妊婦の体格から見た効果の相違について
 - 2. 各栄養素の摂取量からみた効果の相違について

(12) 眼科

- ① 白内障手術における新しい核分割法とそれに関する器具の開発
- ② 網膜静脈閉塞症に対する抗VEGF療法の比較検討
- ③ 強度近視に伴う視神經乳頭外で流出するretinociliary veinと後極部渦静脈の関係

(13) 麻酔科

- ① 術中フェンタニル投与法の違いが麻酔覚醒、術後鎮痛に及ぼす影響
- ② 喫煙者と非喫煙者における術中制吐薬の有効性の検討
- ③ 高齢の手術患者における局所麻酔薬による神経ブロックの有効性の検討
- ④ 非常勤麻酔科医確保とその有効活用に関する検討
- ⑤ 医師不足地域への麻酔科医派遣協力システムの検討
- ⑥ 複数施設での麻酔科医相互補完に関する検討
- ⑦ 高齢の大腿骨頸部骨折患者の予後に影響する麻酔管理方法の検討
- ⑧ 高齢者大腿骨頸部骨折患者の深部静脈血栓発生率と麻酔管理方法の関係の検討
- ⑨ 高齢者大腿骨頸部骨折患者の手術待機期間と予後の関係の検討
- ⑩ 救急救命士気管挿管実習の患者同意取得時における説明方法と同意取得率の検討
- ⑪ 救急救命士気管挿管実習時の指導法と挿管成功率の検討

(14) 歯科

- ① 周術期における歯科的介入についての検討

3. 医療技術部

(1) 薬剤科

- ① 抗凝固薬ダビガトランの超低用量群における有効性と安全性に関する研究
- ② がん化学療法における治療強度低下因子の解析とその対策の検討
- ③ TPN使用患者と肝機能の関連性について脂肪乳剤を処方した患者と処方しなかった患者について検証する
- ④ 脂肪乳剤の投与量と投与速度について脂質代謝や微生物汚染の観点から検証する
- ⑤ 末梢静脈栄養時のトラブルとして血管痛や静脈炎が起こることがある。輸液の浸透圧、PH、滴定酸度より輸液のリスクを検証する
- ⑥ クロストリジウム・ディフィシル感染症の現在の投薬の状況、治療の効果を検証する。
その結果に基づき、軽症～中等症、重症、重症かつ複雑性、再発性の治療方針を作成、提案する。
(ICTとの共同研究)
- ⑦ 手術室における薬剤師業務に関する調査とその効果
- ⑧ 医師・薬剤師協働プロトコルの効果と問題点の検証

(2) 臨床工学科

- ① 経鼻用高流量酸素療法における流量変化とdB変化について
- ② 透析療法選択時の臨床工学技士の関わり
- ③ 酸素流量計管理方法の改善に向けた試み
- ④ AFF（アンチフリフロー）クリップ付き輸液セット導入に伴う医療スタッフへの教育
- ⑤ スマートポンプ導入による医療スタッフの意識変化
- ⑥ 逐次型空気圧式マッサージ器中央管理による至適運用方法の検討
- ⑦ 搬送用人工呼吸器MONNAL T60に搭載されたハイフロー機能の有効性について
- ⑧ 患者監視装置に搭載された時計機能の検証

- ⑨ インド共和国における多人数用透析装置導入に向けた試み
- ⑩ 電動ベッドの誤操作により発生したME機器関連インシデント事例の検証

(3) 臨床検査科

[生化学]

- ① 科別の生化学検査異常値の解釈と初回パニック値の見直し
- ② コスト面から見た少数依頼項目の見直し

[輸血]

- ③ 輸血製剤廃棄率の改善に向けた取り組み
- ④ 輸血後感染症検査受診率向上に向けた取り組み

[採血室]

- ⑤ 電子カルテ導入後の採血室の現状把握と改善

[血液]

- ⑥ 検査機器の取り扱い方の見直しと凝固試薬(D-dimer, FDP)の見直し

[一般]

- ⑦ 簡易キット(インフルエンザ、尿中肺炎球菌、尿中レジオネラ)の再検討

[細菌]

- ⑧ 外部に向けた検体採取・輸送・保存に関する医療スタッフへの教育

[生理]

- ⑨ 検査手技、結果解釈の統一に関する検討

(4) リハビリテーション科

- ① 大腿骨頭の偏位と中殿筋筋萎縮が術後に及ぼす影響について
- ② 大腿骨頭前捻角と筋萎縮の視点から術後の予後予測検討
- ③ 大腿骨頸部骨折術後右患者の院内転倒リスクについて
- ④ 透析患者に対し、透析中のにおけるリハ実施の試み
- ⑤ 歩行アシストを用いた治療の試み
- ⑥ ボトックス治療の評価と効果
- ⑦ 回復期リハビリテーション病棟における栄養アセスメント

(5) 放射線科

- ① 患者さんに優しい検査方法の検討
- ② X線撮影における被曝低減の検討
- ③ 各検査におけるリスク防止の検討

4. 看護部

- ① 電子カルテ導入前後の業務量調査から、業務改善効果研究
- ② PNS(パートナー・シップ・システム)方式の現状と今後の課題
- ③ クリニカルラダー合同研修の効果
- ④ 介護職のストレスセルフチェック分析
- ⑤ 外来と病棟間のリリーフ体制の構築 2題
- ⑥ 12時間夜勤導入時の看護者の職場環境改善効果
- ⑦ 手術前オリエンテーションの変更による効果
- ⑧ 職場パフォーマンスを向上させる対策を考察する

II. 佐倉厚生園病院

1. 診療部糖尿病・代謝内科

- ① 動脈硬化症と糖および血清リポ蛋白代謝の研究

2. NST委員会

- ① 慢性期療養型病棟に入院中の後期高齢者・超高齢者に対するNST介入に伴う症例研究

3. 診療技術課薬剤科

- ① 高齢者の在宅支援における退院後の服薬状況実態研究

4. 地域医療連携・医療福祉相談課
 - ① 当院地域における千葉県脳卒中連携パスを利用した医療介護連携の実態研究
5. リハビリテーション科
 - ① 回復期リハ退院後患者の追跡調査及び症例研究
6. 回復期リハビリテーション病棟
 - ① 回復期リハ病棟における看護介入効果と自立度の相関研究
7. 退院支援室
 - ① 慢性期医療の退院支援効果と症例研究

III. 佐倉ホワイエ

老健施設の活動による心の活性化

IV. 玉川クリニック

- ① 喫煙率低下のための研究
 - 1) 禁煙外来における禁煙成功率の向上のための新たなツールの開発
 - 2) 禁煙長期継続のための禁煙外来終了後の継続的なFollow upの方法
 - 3) 事業所健診への積極的な禁煙対策の介入方法
パンフレット配布、講演会などの啓発活動など
- ② 「咳嗽」を主訴とする患者の特徴と早期診断の研究（継続）
—呼気NO検査の有用性の検討—
- ③ 生理痛、肥満に対するハリ治療の有効性の検討
- ④ 事業所健診での肥満、生活習慣病予防への取り組み
玉川高島屋社員で肥満、生活習慣病保持者を対象に、タニタの「健康システム」を用い、食事療法、運動療法の効果を検討
- ⑤ 睡眠時間とメタボリック症候群との関係
高島屋など事業所健診を対象に調査研究

V. 診療所

- ① 健診データの集積と分析による予防医学的研究
- ② 生活習慣病をはじめとする慢性疾患の患者構成・治療後の経過などの追跡調査研究
- ③ 耳鼻咽喉科領域疾患の画像データベース・ファイリングシステムの構築による症例研究
- ④ 数理医学の臨床分野における研究